

## 多様性を力に変える社会の創造を健康科学から

地域ケア開発研究所 梅田 麻希



### キーワード

健康の社会的決定要因、メンタルヘルス、多文化共生、社会疫学

### 研究概要

私は、「こころの健康」をキーワードに、社会疫学という分野の研究をしています。社会疫学では、保健医療福祉制度などの社会の仕組みや、経済状況、治安などの社会的な環境、人々が共有する行動パターンや価値観などの個人を超えた社会環境が、人々の健康に影響を与えていることに注目して、研究のエビデンスを蓄積しています。私が用いる主なデータは、地域住民を対象に行われた質問紙調査によって収集されていますが、近年、病院の診療データやツイッターなどのリアルワールドデータを用いた研究にも着手しています。

これまで行った研究のテーマは様々で、「ひきこもりと家庭の環境」、「配偶者間暴力と医療の利用の関連に与える社会経済要因の影響」、「発達障害を有する成人の社会経済状況」「女性の職業とメンタルヘルスの関連」などがあります。現在は、「女性の初潮とメンタルヘルスの関連を説明する社会経済的要因」や「新型コロナウイルス感染症パンデミックにおける日本在住外国人の情報ニーズ」などの研究を行っています。これらの研究を行うことで、収入や学歴、職業の違いから生起するバリアを低減させることで、多様性が力に変わることを伝えていきたいです。

### アピールポイント

2015年の国連サミットで示された「持続可能な開発目標(SDGs)」は、国際協力の領域を超えて、世界の政治、産業、テクノロジー、保健が共有する目標であり、新しい価値観でもあります。誰もが豊かさの創造に参画できる社会は、社会疫学が目指している社会であり、今後の社会づくりに貢献できる学問だと考えています。

### 応用分野

社会政策や保健政策への活用例が多くありますが、これからは、テクノロジー分野と掛け合わせて、新しい発想の技術やサービスの開発につなげていきたいです。